

～安全・安心を確保するために～ 地震に伴う土砂災害を想定した 情報伝達訓練を実施しました!



現場の状況を報告している様子



テレビ会議が行われている様子

平成29年9月5日（火）、湯沢砂防事務所において地震災害発生時の緊急対応について確認するため、情報伝達訓練を実施しました。

訓練では、湯沢砂防事務所管内で最大震度6強の地震発生という想定で、机上での巡視点検報告や関係各所への情報伝達など本番さながらに実施しました。

また、魚沼市の守門川流域にて、河道閉塞が発生した想定で、対策工法の検討や資材確保の連絡体制の確認を行いました。今回は新たな試みとして、災害対策本部（北陸地方整備局）と支部（事務所）でテレビ会議システムを開設し、災害情報の共有を行う実働訓練にも取り組みました。

今年は、九州北部などで大雨による土砂災害が多く発生しています。

湯沢砂防事務所では、今回の訓練を生かし、災害時の危機管理体制の強化に努めてまいります。